



News Release

平成 31 年 1 月 25 日
株式会社日本政策投資銀行

みやぎ地域価値協創投資事業有限責任組合による 宮城蔵王観光（株）への融資にかかる契約締結について ～資本的劣後ローンを活用して地元観光事業者の財務基盤の強化を支援～

株式会社日本政策投資銀行（代表取締役社長：渡辺一、以下「DBJ」という。）および株式会社七十七銀行（代表取締役頭取：小林英文、以下「七十七銀行」という。）が共同出資する「みやぎ地域価値協創投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」という。）は、宮城蔵王観光株式会社（本社：宮城県刈田郡蔵王町、代表取締役社長：門脇次男、以下「当社」という。）との間で融資契約を締結しました。なお、融資の実施は平成 31 年 1 月 30 日を予定しています。

当ファンドは、平成 30 年 9 月に DBJ と七十七銀行にて、地域の持続的な経済発展に向けた成長資金等を供給することを目的として設立されました。

当社は、宮城県内のスキー場で最大規模の集客を誇る「みやぎ蔵王えぼしリゾート」を運営しており、同スキー場は今冬で 40 周年を迎えます。また、経済産業省が定める「地域未来牽引企業」にも選定されており、インバウンド人口の増加等、宮城県の観光業の発展において活躍がますます期待される企業です。

本件は、近年少雪が続く中でも、気候条件に依存しない営業体制を構築すべく、最新鋭の人工降雪機および付属設備等を導入するに際し、資金面から当社を支援するものです。通常の融資のほか、資本的劣後ローンも活用することで当社の財務基盤の強化を支援します。なお、当社に対する資本的劣後ローンのための当ファンドに対する DBJ の出資については、地域経済の活性化や企業の競争力強化に資する成長資金を集中的に供給するものとして、「特定投資業務」（注）を活用します。

DBJは、企業理念「金融力で未来をデザインします～金融フロンティアの弛まぬ開拓を通じて、お客様及び社会の課題を解決し、日本と世界の持続的発展を実現します～」に基づき、今後とも地域経済の活性化、競争力強化に向けた地域のお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

（注）「特定投資業務」とは、民間による成長資金の供給の促進を図るため、国からの一部出資（産投出資）を活用し、企業の競争力強化や地域活性化の観点から、成長資金の供給を時限的・集中的に実施することを企図して設けられたものです。

【お問い合わせ先】

東北支店 業務第一課ファンド業務グループ 電話番号 022-227-8183

News Release

【当ファンドの概要】

- (1) 名称 : みやぎ地域価値協創投資事業有限責任組合
- (2) 規模 : 30億円
- (3) 設立 : 平成30年9月28日
- (4) 出資者 : 無限責任組合員 (GP) : DBJ地域投資 (株)
有限責任組合員 (LP) : DBJ、七十七銀行
- (5) 期間 : 投資期間5年間、存続期間12年間

【当ファンドのスキーム図】

